

議事録

件名 教育編成委員会ミーティング 管理No 3

日時	3/8/2019
場所	東京服飾専門学校(カレッジカフェ) 豊島区巢鴨1-19-7
出席者	<p>株式会社クレヨン 代表取締役社長 田中大資様 株式会社ステップス 取締役 採用教育部長 塚田龍一様 ソーイングアサヒ株式会社 代表取締役 高橋英一郎様 有限会社ビーシーコスチューム 代表取締役 太田えりこ様 日本モデルエージェンシー協会 岩田佳典理事長</p> <p>東京服飾専門学校 野間憲治 中川敬介 大滝秀一 古賀由紀夫 (伏見幸恵 大塚蘭)</p>
欠席者	1名
概要	<p>1.次年度における各科カリキュラム、シラバスの配布と編成経緯、変更点、留意点について。 2.次年度における産学連携、職業実践体験プログラムの実施内容調整</p>
内容	<p>①理事長挨拶 野間理事長より、教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上へのお願い。 職業実践課程認定へむけての取り組みについて。</p> <p>②「第三回 教育編成委員会の目的と議事項目」「参加者紹介」 アパレル造形科学科長・企業対策室 大滝により案内、進行。</p> <p>③次年度授業計画について(変更点・改善点) 次年度年間スケジュール、カリキュラム変更、全授業のシラバスの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールについて、以前から本校の卒業制作ファッションショーの準備期間が就職活動のキックオフに重なっている問題があり、今年度より開催時期を2月末に移動する。 ・次年度各科産学連携授業の変更点説明 アパレル造形科産学連携対象授業名の変更 授業名「マーチャンダイジング」→変更先授業名:「トレンド分析/産学連携」 <p>④就学成果・就職内定状況 引き続きファッション業界での採用、内定状況は好調。本年度においては専攻科への進学進級よりも就職希望、就職を叶える傾向が強かった。</p> <p>⑤産学連携授業の実施結果、各科総括質疑</p> <p>(株)クレヨン様: アパレル造形科 授業名: マーチャンダイジングについて 概ねスタート時の計画通りの実務経験と能力向上が望めた。 特に連携をいただいた(株)クレヨン様への企業関心度が学生内に上がり、2年続けて男子学生の就職に結びついた。</p> <p>(有)ビーシーコスチューム様:アパレル技能科、アパレル造形科</p>

	<p>授業名：プロダクトプランニングについて カリキュラム、シラバスの編成により、連携を図れる期間が以前より短く結果として、残ながら深みのある内容、十分な知見の獲得になったとは言えない。</p>
	<p>⑥次年度授業計画の説明、質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学連携科目名の変更、授業時間の一部拡大により、学内の企業連携に対する意欲と重要性の向上を歓迎。 ・ 業界、協会との連携を基にした学内外を対象としたイベント 開催の提案。(J.M.A.A.岩田様)
	<p>⑦まとめ 来期においてはカリキュラム内の時間枠を増やすこと。 産学連携に参画いただく 企業様を増やし、多角的な課題の取り組みを目指す。 今後もなにか提案、アドバイスなどがあれば、その都度頂く。</p>
添付資料	当日の配布物：次年度各科募集要項、年間スケジュール、カリキュラム、シラバス各科進路状況
決定事項	(⑦参照)
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み内容(③参照) ・ 産学協同授業の、企業側のメリット 創出
次回日程	2019.7
特記事項	

回覧先	作成者
	大塚